

【特色ある学校づくり】

学力向上への取組と地域との連携を図った実践

守谷市立郷州小学校

1 はじめに

本校では、「夢と生きる力をもつ、心豊かな児童の育成」という教育目標の具現化に向け、「学力の向上」「好ましい人間関係づくり」「体力の向上、計画的・継続的な健康教育の推進」など知徳体の調和的な発達を目指し、日々の教育活動を行っている。研究テーマは、「言語活動を充実し、思考力・判断力・表現力を育てる指導の工夫～国語科を中心に、読むこと、書くこと、伝え合うことを中核として～」で、授業研究を中心に研究を進めている。また、地域に開かれた学校を目指し、スクールサポーターの活用や地域との連携にも力を注いでいる。

2 実践

(1) 学力向上に向けて

＜教員の専門性を生かした効果的な指導実践＞

① 教科担任制による授業

今年度より3, 5, 6年生において理科の教科担任制を取り入れている。理科専門の教師と担任とのTTによる指導を行っている。理科専門の教師が指導に当たることによって、今まで以上に児童の興味・関心を喚起し、積極的な取組を促すことができた。理科授業の質の向上が、理科の学力向上につながっている。

そのほかでは、4, 6年の社会、6年の音楽において教科担任制を実施し、効果を上げている。

② TT授業、少人数指導

5年生の算数において少人数指導、TT指導を取り入れている。単元や児童の実態に応じて、少人数指導で行ったり、TT指導で行ったりしている。一人一人に目が届きやすくなり、個人差に応じた指導ができるようになってきた。

＜思考力や表現力を高める言語活動の充実＞

① 国語科を中心に「読むこと」「書くこと」「伝え合うこと」を意識した授業展開

県南教育事務所の学力向上推進プロジェクトチーム訪問を3回実施するとともに校内研修において国語科の研究に取り組んできた。本校の実態として、全国学力学習状況調査や学力診断テストの分析から、「読む力」「書く力」に課題があることがわかった。課題克服のために、単元を貫く言語活動を踏まえた授業改善に努めてきた。具体的には、次のような取組を行ってきた。

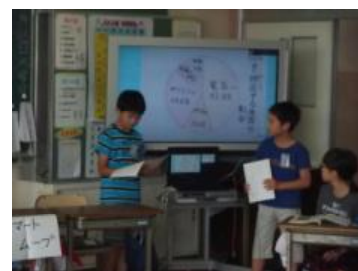
- ・授業の中で、「書く力」を身に付けさせるために、自分の考えや分かったこと、振り返りや自己評価などを書く活動を意図的に取り入れる。
- ・問題の内容を正確に読み取るために授業中の読む活動を充実させる。
- ・各学年で音読指導をしっかりと行い、全員が教材文をすらすらと読めるように指導していく。
- ・読書活動の充実を図り、並行読書を積極的に取り入れていく。
- ・語彙力を高めるために、国語辞典の活用を促し、言葉に関する感覚を高めていく。
- ・積極的に少人数での話し合いを取り入れ、誰もが自分の考え



理科授業の様子



1年生の交流活動



5年生の発表

を表現できる場を確保する。

- ・必ず根拠をもって発表できるように指導していく。

② PISA 型読解力学習ノートの活用, GOGO タイムの推進

朝自習の時間に3年以上で、PISA 型読解力学習ノートを使用し、読解力の向上を図っている。このノートは、記述式の問題で構成されており、全国学力学習状況調査の国語のB問題に対応した高度な内容となっている。また、「GOGO タイム」といって、月に2回基礎的な言語能力を身に付けさせるために言語に関するワークシートに取り組ませている。

(2) スクールサポーターの活用及び地域との連携

① 読み聞かせ, 学習補助, 行事への協力

本校では、様々な場面でスクールサポーターの方に協力をいただいている。本年度は、以下のような活動にご協力いただいた。

- ・読み聞かせ(1～6年までの全クラス)
- ・学習補助や引率補助
 - 校外での学習の引率補助(1,2年生活,3年社会,総合)
 - おもちゃづくり(1年生活)
 - ブックトーク(2年国語)
 - のこぎりの使い方(4年図工)
 - 稲刈り(5年総合)
 - バイオリンの演奏体験(5年音楽)
 - ミシンの使い方(5年家庭)
 - 音楽の歌唱指導(6年音楽)

- ・行事への協力 GOGO 郷州へのお手伝い

② 地域との連携

学校の挨拶運動に、地域のボランティアの方が協力してくださり、校門付近で毎日声をかけてくださっている。子どもたちも地域の方と一緒にあいさつ運動を行うことで意識が高まってきた。また、夏休みには地域の方が集会所にて「ミニ寺子屋」を開設し、夏休みの課題の取組についてアドバイスなどをしていただいた。



4年生の交流活動



読み聞かせ



学習補助



あいさつ運動



ミニ寺子屋



GOGO 郷州でのスーパードーム風船迷路づくり

3 成果と今後の課題

学力向上に向けた取組では、教科担任制や少人数指導、TT指導などの指導体制の改善により、授業の質の向上が見られ、確実に学力の向上につながっている。思考力・表現力を高める言語活動の充実については、今後も引き続き継続的に取り組むことで「読む力」「書く力」の向上を図っていききたい。

地域との連携については、サポーターの活用など年間計画に基づいたより効果的な活用が図れるようにしていきたい。